

近世見聞録 二篇下



10

15

20

25

A. 458
5c.



秘して平理
 二の形ハさるや
 法花の内
 命とほを
 六条よ
 ちのわた
 五斗
 らぞ

近世見聞録六号

十八日ふいふの公口
 海内せしと一六五
 横身正親証せたる
 二破ありと垂らふ
 ちきりちきり
 長砂よむき
 之條及己个堂
 上方み得一

大和
 の年
 大和
 の年
 大和
 の年
 大和
 の年



近世見聞録

二篇下之卷

48-8077



及び一うど
 持用ありと
 今く申す

長門の浮世
 天竺の平杖
 阿蘭若の結
 宿の宿

の者士これ
 中よつて
 一説
 二説
 三説

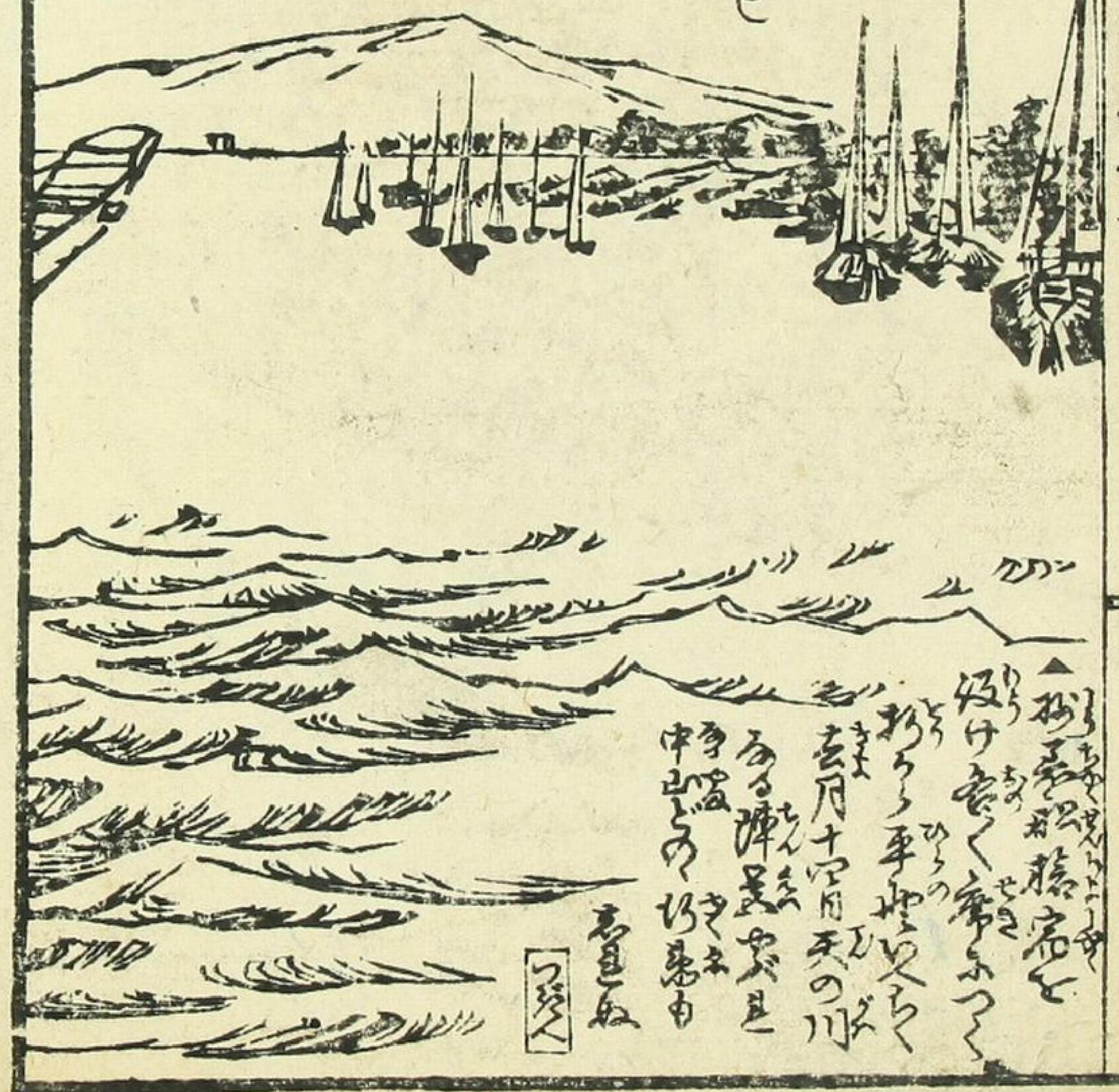


今世のそと
 毛利
 今世のそと
 毛利

平世
 縁宿
 縁宿

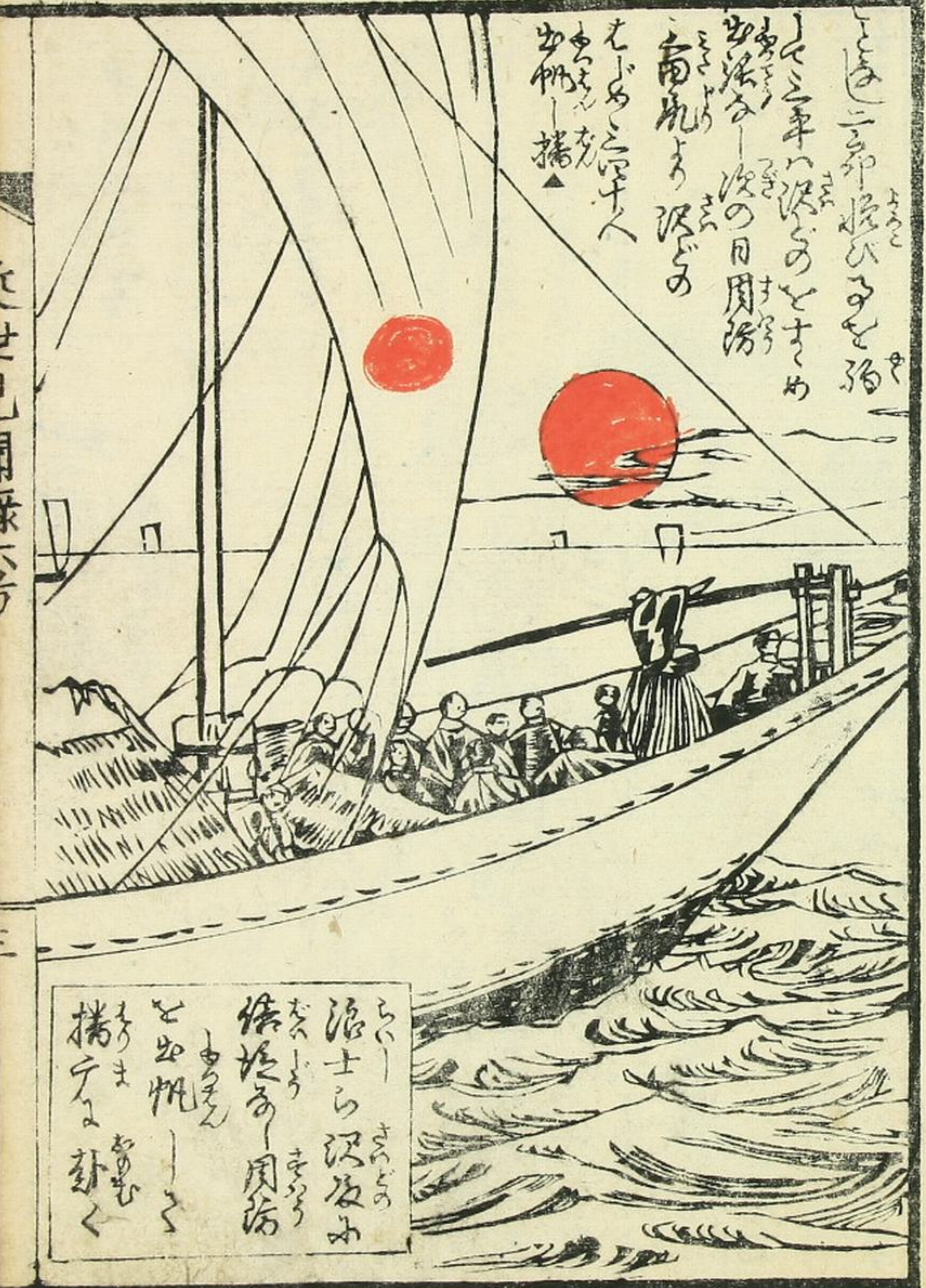
七の
 の中
 の中
 の中

つぎ 若翁とて
 せし 六我入候とて
 七のちら一はもも候
 客せし 長形の云士を
 彼翁とて 大和の彦板臣
 系御へ 海舟一舟更の
 形造とて さん 卯橋も
 その さまを まう 小生
 まう 一策あり 長層
 南八郎とて 六がわ
 渠因 見せ 毛利翁
 の 云士と せし さん
 照瑞翁の 堀士とて
 あり せし 云士とて



△ 柳屋 藤吉を
 及び せし 常ふつ
 ちう 平埋 又ら
 五月 十日 天の川
 なる 陣屋 雲且
 申出 あり 島市
 高直 ぬ
 つと

しほ 二卯 堀ひを 堀
 一と 平の 沢の の せし せ
 出流 あり 沢の 日周 湯
 南丸 あり 沢の の
 七のち さん 十人
 出帆 あり 揚



ら 浪士ら 沢の ぬ
 候 堀あり 周湯
 出帆 あり 揚
 揚 あり 揚

結ま
 らま
 号
 決
 友
 と
 招

 好
 更
 と
 迷
 う

 一
 め
 の
 平
 野

 乃
 り
 考
 へ
 ぬ
 事
 だ



五七集 隠鏡 一
 四

緒薦の玉陣
と文七浪士
多妙見老ふ
摘このる



六月十日
の夜
多妙見
老ふ
摘このる

付と
地要



一振をきくと
山口村のゆえある
この地のありと
同藩の有志ある
二三百人といふあり
摘このる

陣屋とて
このたしが
きかてゆく
この地のありと
同藩の有志ある
二三百人といふあり
摘このる

浪士の
武井
三平



平信畫

左に曰名信後...
 右に曰...
 平信畫
 此の...
 平信畫...
 此の...
 平信畫...

平信畫
 此の...
 平信畫...

左に曰名信後...
 右に曰...
 平信畫
 此の...
 平信畫...

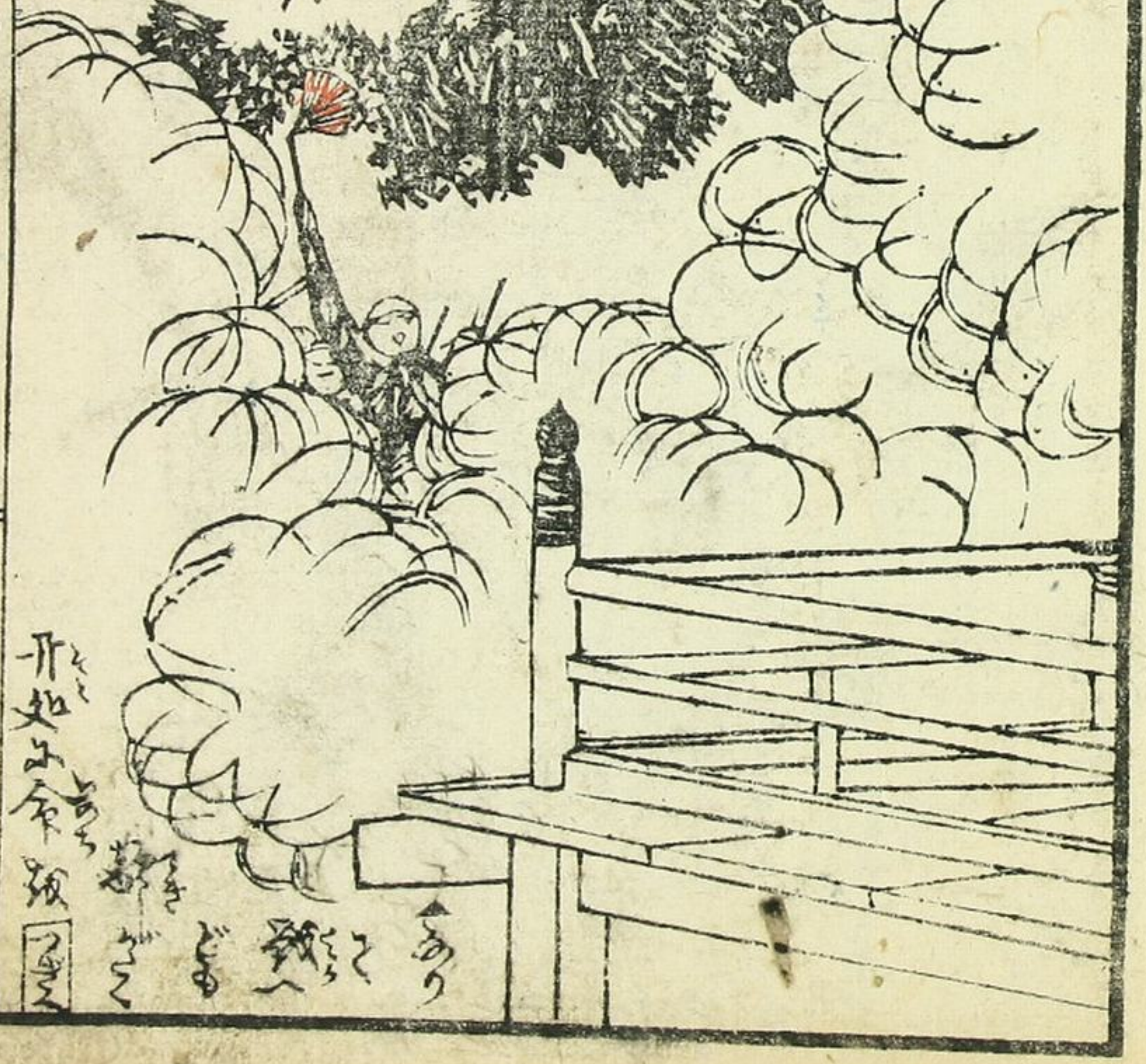
大世見聞録六号

七

少見堂南
 二郎白
 首我劍之
 雄死あま



大坂...
 主人後...
 死...
 其の身由...
 白刃と...
 一...
 此...
 小...
 お入れ...
 源...
 出...
 考...



近世見聞録六号

开如...
 今...
 後...



出版御届明治十一年十一月五日

定價金拾錢

編輯人 下谷區御徒町二丁目廿六番地 石井善内

出版人 日本橋區馬喰町二丁目九番地 荒川藤兵衛

010190508698

明倫彙編
家範典
卷一百一十
二月十日

明倫彙編



驗木虎之助